



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社LOIVE 上場取引所 東
コード番号 352A URL <http://loive.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 前川 彩香
問合せ先責任者（役職名） 取締役 管理部GM（氏名） 代田 将己（TEL）(011)-299-2730
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,252	32.5	44	△91.6	△12	—	△17	—
2025年3月期中間期	3,963	—	530	—	496	—	363	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△1.37	—
2025年3月期中間期	29.45	—

1. 当社は、2024年3月期中間期については、中間財務諸表を作成していないため、2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、非上場であったことから期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. 当社は、2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、1株当たり中間純損失を計上しているため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年3月期中間期	8,584		1,964		22.9
2025年3月期	7,892		1,636		20.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,964百万円 2025年3月期 1,636百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,315	45.0	1,420	41.4	1,369	47.2	914	82.8	72.55

注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	12,629,871株	2025年3月期	12,329,871株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	-株	2025年3月期	-株
-------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	12,593,805株	2025年3月期中間期	12,329,871株
-------------	-------------	-------------	-------------

（注）2025年2月1日付けで普通株式1株につき普通株式3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数（中間期）を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）における我が国の経済は、深刻化する人手不足を背景に賃金が伸び、雇用・所得環境が改善したことで個人消費が持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の関税政策の影響や中国経済の低迷、エネルギー・原料価格の高止まりなど、外部環境の不確実性が景気の先行きに影響を及ぼしており、引き続き慎重な見方が必要な状況が続いております。

当社が属するフィットネス業界は、総合型（プール、ジム、スタジオを兼ね備えたフィットネススタジオ業態）とブティック型で構成されます。過去20年にわたり、ブティック型を中心に新規参入が活発化し、市場規模は拡大傾向にあります。顧客ニーズの変化や嗜好の多様化に応じて、総合型からブティック型にトレンドがシフトし、新業態やブランドの参入を契機にフィットネス人口が広がり、市場は拡大基調にあります。コロナ禍で一時停滞したものの、人々の健康志向の高まりや高齢化により、海外市場との比較も踏まえると、市場拡大のトレンドは継続すると見込んでおります。

このような状況において、当社は「自分を愛し、輝く女性を創る。」をミッションとし、女性向けのブティック型フィットネススタジオを運営しており、2025年9月末現在で日本全国に180店舗を事業展開しております。当社は「グループレッスン形式」のブティック型スタジオを運営しております。グループレッスン形式の店舗は1店舗あたり65～80坪程度と小規模であることから初期投資を抑制することができ、小規模故に出店物件は豊富に存在することから、多店舗展開を進めやすい点が特徴です。また、1つのスタジオにおいて1人のインストラクターが平均20～30名の会員に同時にレッスンを提供することで、ローコストオペレーションを実現できる点が特徴です。このような特徴を有するグループレッスン形式の店舗を全店直営形態で展開することで、高い収益性が実現できるビジネスモデルとなっております。

当中間会計期間は、成長戦略の中心であるピラティスKを29店舗出店し、市場拡大しつつも競合他社の出店増加により集客競争が激化しているピラティス市場でのシェアを最大化するために、新規出店を加速しました。また、定期購入を中心に物販の強化や新レッスン導入などを行いLTV向上を実現しました。さらに、公休10日制や給与ベースアップによる社員の待遇アップデートでカルチャー強化を図り、出店加速に向けた人財採用も順調に進捗しました。

当社は事業拡大のために、店舗数及び会員数を重要な指標と位置付けております。指標の状況は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間期 (2025年9月30日)
店舗数	150	180
会員数（万人）	6.2	7.6

当社はブティックスタジオ事業の単一セグメントであり、セグメント情報は記載しておりませんが、当社が展開しているブランド及び店舗数は以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間期 (2025年9月30日)
ホットヨガスタジオ 「loIve（ロイブ）」	64	64
マシンピラティス専門スタジオ 「pilates K（ピラティスK）」	80	109
その他	6	7
合計	150	180

以上の結果、当中間会計期間においては、ピラティスKの新規出店により会員数が増加し、売上高は5,252百万円（前年同期は3,963百万円、前年同期比32.5%増）となりました。一方で、新規出店のコストや今後の出店に向けた新入社員の入社等により、営業利益は44百万円（前年同期は530百万円、前年同期比91.6%減）、経常損失は12百万円（前年同期は経常利益496百万円）となり、中間純損失17百万円（前年同期は中間純利益363百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

a. 資産、負債及び資本の状況

当中間会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて692百万円増加し、8,584百万円となりました。

流動資産は、売掛金が208百万円増加した一方で、現金及び預金が356百万円減少したことにより前事業年度末に比べて240百万円減少し、2,678百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が786百万円増加したこと等により前事業年度末に比べて932百万円増加し、5,905百万円となりました。

負債合計は、前事業年度末に比べて364百万円増加し、6,619百万円となりました。

純資産合計は、前事業年度末に比べて327百万円増加し、1,964百万円となりました。

この結果、当中間会計期間末の自己資本比率は22.9%（前事業年度末20.7%）となりました。

b. キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より356百万円減少し1,164百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、26百万円となりました。これは主に税引前中間純損失16百万円に減価償却費等の非資金項目、営業活動に係る債権・債務の加減算を行ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、1,182百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,037百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は、852百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入850百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月15日に開示した数値から、現時点において変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,520,434	1,164,253
売掛金	829,242	1,038,188
商品	140,952	121,136
前渡金	260,310	140,439
前払費用	189,919	230,164
その他	8,421	18,023
貸倒引当金	△29,974	△33,386
流動資産合計	2,919,306	2,678,820
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	3,407,816	4,143,307
工具、器具及び備品（純額）	227,613	316,387
リース資産（純額）	8,463	6,970
建設仮勘定	21,200	-
その他（純額）	58,723	43,908
有形固定資産合計	3,723,817	4,510,573
無形固定資産		
ソフトウェア	16,585	31,816
無形固定資産合計	16,585	31,816
投資その他の資産		
出資金	100	80
長期前払費用	35,833	39,764
差入保証金	985,344	1,107,051
繰延税金資産	210,428	215,452
その他	658	607
投資その他の資産合計	1,232,366	1,362,955
固定資産合計	4,972,769	5,905,344
資産合計	7,892,075	8,584,165

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,985	25,498
1年内返済予定の長期借入金	617,269	888,025
未払法人税等	396,124	45,895
リース債務	2,996	3,026
未払金	592,421	310,065
賞与引当金	94,035	91,294
未払費用	210,084	375,529
契約負債	899,735	1,120,867
預り金	13,817	73,236
その他	101,040	94,473
流動負債合計	2,971,509	3,027,911
固定負債		
長期借入金	2,761,475	3,002,072
リース債務	5,650	4,130
資産除去債務	481,187	552,196
その他	35,757	33,590
固定負債合計	3,284,071	3,591,988
負債合計	6,255,581	6,619,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,997	10,000
資本剰余金		
資本準備金	590,747	763,247
その他資本剰余金	208,750	766,247
資本剰余金合計	799,497	1,529,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	442,000	424,770
利益剰余金合計	442,000	424,770
株主資本合計	1,636,494	1,964,265
純資産合計	1,636,494	1,964,265
負債純資産合計	7,892,075	8,584,165

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	3,963,546	5,252,937
売上原価	2,402,415	3,544,655
売上総利益	1,561,130	1,708,281
販売費及び一般管理費	1,030,695	1,663,579
営業利益	530,434	44,702
営業外収益		
受取利息	89	1,750
受取保険金	69	64
その他	588	117
営業外収益合計	747	1,932
営業外費用		
支払利息	18,764	31,155
支払手数料	15,169	3,545
上場関連費用	-	10,651
その他	383	14,009
営業外費用合計	34,318	59,360
経常利益又は経常損失(△)	496,864	△12,725
特別損失		
固定資産除却損	72	0
事務所移転費用	-	3,060
社名変更費用	-	649
特別損失合計	72	3,710
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	496,791	△16,435
法人税等	133,638	794
中間純利益又は中間純損失(△)	363,152	△17,229

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失 (△)	496,791	△16,435
減価償却費	137,000	229,900
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,806	3,411
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,022	△2,741
受取保険金	△69	△64
受取利息	△89	△1,750
支払利息	18,764	31,155
固定資産除却損	72	0
その他の損益 (△は益)	△696	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△148,801	△208,946
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△27,890	20,995
前払費用の増減額 (△は増加)	△39,201	△39,673
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,510	△18,487
未払金の増減額 (△は減少)	△99,196	△40,542
未払費用の増減額 (△は減少)	3,366	164,507
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,444	△7,453
契約負債の増減額 (△は減少)	169,884	221,132
その他の資産・負債の増減額	△40,835	28,080
小計	543,882	363,089
利息及び配当金の受取額	89	1,750
利息の支払額	△18,423	△30,788
法人税等の支払額	△126,836	△360,744
保険金の受取額	69	64
営業活動によるキャッシュ・フロー	398,782	△26,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△577,310	△1,037,408
無形固定資産の取得による支出	△4,243	△17,531
差入保証金の差入による支出	△119,802	△127,866
差入保証金の回収による収入	13,105	559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△688,250	△1,182,246

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	-
長期借入れによる収入	674,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△242,006	△338,647
社債の償還による支出	△30,000	-
株式の発行による収入	-	345,000
長期未払金の返済による支出	△8,257	△2,167
リース債務の返済による支出	△1,461	△1,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,275	852,695
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,806	△356,180
現金及び現金同等物の期首残高	1,009,130	1,520,434
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,081,937	1,164,253

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年4月24日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場に当たり、2025年4月23日を払込期日とする一般募集による新株式300,000株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ172,500千円増加しております。

また、当社は、2025年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年8月1日付で減資の効力が発生いたしました。これにより、資本金の額557,497千円を減少させ、全額をその他資本剰余金に振り替えております。

この結果、当中間会計期間末において資本金が10,000千円、資本剰余金が1,529,494千円となっております。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用は、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前中間純利益又は税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、ブティックスタジオ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。